

# 三重とこわか国体・三重とこわか大会

## 実行委員会

### 第2回 全国障害者スポーツ大会

### 専門委員会



とこまる

## 三重とこわか国体

第76回国民体育大会 2021年 9月25日(土)~10月5日(火)

ときめいて人 かがやいて未来 2021

## 三重とこわか大会

第21回全国障害者スポーツ大会 2021年 10月23日(土)~10月25日(月)



令和元年6月26日(水)

三重県勤労者福祉会館 講堂

## 第2回 全国障害者スポーツ大会 専門委員会 次第

日時：令和元年6月26日（水）

10時30分から12時00分まで

場所：三重県勤労者福祉会館6階 講堂

### 1 開会

### 2 挨拶

### 3 報告事項

- (報告事項1) 全国障害者スポーツ大会専門委員会委員の変更・・・・・・・・・・ P 1
- (報告事項2) オープン競技の日程について・・・・・・・・・・ P 2
- (報告事項3) 選手団サポートボランティアの養成について・・・・・・・・・・ P 3

### 4 審議事項

- (第1号議案) 情報保障環境整備基本方針（案）・・・・・・・・・・ P 4
- (第2号議案) 情報支援ボランティア募集要項（案）・・・・・・・・・・ P 6
- (第3号議案) 資格審査実施要項（案）・・・・・・・・・・ P 9
- (第4号議案) 全国障害者スポーツ大会専門委員会部会設置要項（案）・・・・・・・・ P 10
- (第5号議案) 移動支援ボランティア募集要項（案）・・・・・・・・・・ P 11

### 5 協議事項

- (協議事項1) 競技会運営調整会議（案）について・・・・・・・・・・ P 14

### 6 閉会

#### 【参考資料】

- 全国障害者スポーツ大会専門委員会 委員名簿・・・・・・・・・・ P 15

## 全国障害者スポーツ大会 専門委員会 委員の変更

委員の変更について、三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会会則第 13 条第 4 項に基づき報告します。

### ○委員

(敬称略、順不同)

| 所属機関・団体名            | 新任者   | 前任者   |
|---------------------|-------|-------|
| 社会福祉法人三重県視覚障害者協会    | 児玉 千春 | 内田 順朗 |
| 公益財団法人三重県体育協会       | 村木 輝行 | 東地 隆司 |
| 松阪市教育委員会事務局 国体推進室   | 前出 和也 | 山口 真澄 |
| 鈴鹿市文化スポーツ部 国体推進課    | 金丸 直志 | 今村 隆之 |
| 志摩市教育委員会事務局 国体推進室   | 阿部 亨  | 中島 治久 |
| 三重県教育委員会事務局 保健体育課   | 嶋田 和彦 | 野垣内 靖 |
| 三重県教育委員会事務局 特別支援教育課 | 赤尾 時寛 | 森井 博之 |
| 三重県立特別支援学校長会        | 井川 佳久 | 西谷 嘉修 |

## 三重とこわか大会 オープン競技の日程について

| 競技名                 | 障害区分  | 主催団体   | 開催日                     | 開催施設             |
|---------------------|-------|--|-------------------------|------------------|
| スポーツ<br>ウエルネス<br>吹矢 | 身・知・精 | ・三重県スポーツウエルネス吹矢協会<br>・三重県スポーツウエルネス吹矢協会津支部    | 令和3年10月24日(日)           | 津市久居体育館<br>(津市)  |
| ハンザクラス<br>セーリング     | 身・知・精 | ・三重県ヨット連盟<br>・日本ハンザクラス協会<br>・NPO 法人セイラビリティ三重 | 令和3年10月16日(土)<br>17日(日) | 津ヨットハーバー<br>(津市) |

(注)身：身体障がい者が出場できる競技  
知：知的障がい者が出場できる競技  
精：精神障がい者が出場できる競技

## 選手団サポートボランティアの養成について

## 1 要旨

三重とこわか大会に参加する選手及び役員の介助や誘導等のサポートを行う選手団サポートボランティアの養成について、次のとおり医療福祉系の大学・専門学校等へ協力を要請しています。

なお、養成人数については、先催県の実績を踏まえ、1,200人を目途としています。

## 2 協力要請内容

学生の参加を積極的に促すとともに、ボランティア活動を授業や学校行事として位置付けるなど、学生が参加しやすい環境整備の協力を依頼しています。また、学生の自由な発想で、歓迎旗や応援メガホンなどの製作を依頼しています。

## 3 今後のスケジュール（予定）

| 年 度             | 内 容  |
|-----------------|--|
| 2019年度<br>(2年前) | 養成協力候補校連絡会議の設置<br>活動内容等に関する意見交換                        |
| 2020年度<br>(1年前) | 養成協力校の委嘱式<br>養成講座の開始<br>輸送計画の検討<br>学園祭等での啓発            |
| 2021年度<br>(開催年) | 配置決定<br>応援グッズの製作<br>直前研修・説明会<br>★リハーサル大会（応援協力）<br>★本大会 |

(参考)

先催県の実績

○選手団サポートボランティアに関する先催県の状況（人）

|      | 山口県 | 長崎県   | 和歌山県  | 愛媛県   | 福井県   |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 配置人数 | 929 | 1,113 | 1,189 | 1,588 | 1,346 |

## 三重とこわか大会情報保障環境整備基本方針(案)

## 1 趣旨

三重とこわか大会(以下「大会」という。)において、大会参加者及び観覧者が、障がいのあるなしに関わらず、大会や競技の情報を得ることができるよう情報保障環境を整備する。

## 2 整備体制

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会(以下「実行委員会」という。)が、大会の情報保障環境を整備する。

なお、実行委員会は整備にあたり、会場地市町、競技運営主管団体及びその他の関係団体と相互に連絡調整を行い、協力を図る。

## 3 整備内容

情報保障環境整備のため、ボランティアの配置や機器の設置等を以下のとおり実施する。

なお、実施箇所等については、競技会場施設等の状況、大会参加者及び観覧者の特性、経費等を総合的に勘案して選定する。

## (1) 主に視覚障がい者への情報保障

## ア 点字・音声案内

施設等の情報を伝えるため、点字案内板や音声誘導装置等を会場に設置する。

## イ FMラジオ実況放送

競技の経過等が分かるよう、大会運営上必要と認められる会場において、アナウンサー等によるFMラジオ実況放送を実施する。

## ウ 点字及び音声コード入り資料の作成

大会パンフレットや競技関係資料等について、点字版を作成するとともに、音声コードを刷り込む。

## (2) 主に聴覚障がい者への情報保障

## ア 情報支援ボランティア

手話、要約筆記(パソコン・手書き)、筆談を活用して、聴覚障がい者への情報保障を図るとともに、すべての人に分かりやすい情報提供を行うため、開・閉会式会場及び各競技会場等に、情報支援ボランティアを配置する。

## イ 映像装置(大型映像装置、仮設モニター)

情報支援ボランティアによる情報保障活動が効果的かつ効率的に行えるよう、手話及び文字情報を表示するための映像装置を、大会運営上必要と認められ

る会場に設置する。

ウ ヒアリングループ

場内放送の内容等を誘導コイル付補聴器で聞き取りやすくするために、大会運営上必要と認められる会場に、ヒアリングループを設置する。

エ 情報保障席

会場内の観覧者席において、上記ア、イ及びウによる複合的な情報保障が得られるよう、聴覚障がい者のための優先席として情報保障席を設置する。

(3) その他

ア 筆談等の実施

実施本部員・各種ボランティアは、必要に応じて、聴覚障がい者に対して筆談等による情報保障を行うよう努めるものとする。

また、この取り組みについて広く周知する。

イ サイン表示(ピクトグラム等)・ふりがな表記

すべての人に分かりやすい情報提供を行うため、案内看板や大会パンフレット等に大きくて認識しやすいサイン表示を行う。また、日本語のふりがな表記を行う。

ウ ICTを活用した大会情報の提供

大会参加者及び観覧者が、大会関連情報等を得られるよう、大会ホームページ等を活用し配信する。

4 その他

この要項に定めるもののほか、情報保障に関し必要な事項は、別に定める。

## 三重とこわか国体・三重とこわか大会「情報支援ボランティア」募集要項 (案)

### 1 趣旨

令和3年に開催される三重とこわか国体及び三重とこわか大会（以下「兩大会」という。）において、聴覚障がいのある人への情報支援を図るとともに、すべての人に分かりやすい情報提供を行うため、手話や要約筆記、筆談等を行う情報支援ボランティアを募集する。

### 2 募集主体

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会（以下「県実行委員会」という。）

### 3 募集人数

| 種 別                | 人数   |
|--------------------|------|
| 手話・筆談              | 500人 |
| 要約筆記<br>(手書き・パソコン) | 100人 |

### 4 募集期間

令和元年10月下旬（予定）から募集人員に達するまでとする。

### 5 応募要件

平成15年4月1日以前に生まれた方（令和3年4月1日時点で18歳以上、高校生を除く）で、かつ、以下の要件を満たし、県実行委員会が主催する情報支援ボランティア養成講座及び事前研修等への参加並びに兩大会期間中の活動が可能な方。

|                        |   |
|------------------------|---|
| 手話・筆談                  | 日常会話ができる程度の手話能力のある方又は手話を学んだ経験のある方で、かつ筆談に関し経験又は関心のある方                  |
| 要約筆記<br>(手書き・<br>パソコン) | 手書き要約筆記に関し経験のある方又はパソコン要約筆記に関し経験のある方<br>(要約筆記者養成講座修了者又は要約筆記奉仕員養成講座修了者) |

### 6 応募方法

応募方法は、登録申込書に必要事項を記入のうえ、県実行委員会事務局宛てに郵送、FAX又は兩大会のホームページにより行うものとする。

※「登録申込書」については、県実行委員会が別に定めたものを使用する。

### 7 登録

県実行委員会は、応募要件を満たした応募者を情報支援ボランティアとして登録し、情報支援ボランティア登録証を交付する。



## 8 活動内容及び活動場所

| 区 分          |                    | 活動内容                      | 活動日                            | 活動場所  |
|--------------|--------------------|---------------------------|--------------------------------|---|
| 三重とこわか<br>国体 | 総合開会式              | 手話・筆談<br>要約筆記等<br>による情報提供 | 令和3年9月25日(土)                   | 伊勢市   |
|              | 総合閉会式              |                           | 令和3年10月5日(火)                   | 伊勢市   |
| 三重とこわか大会     | 開会式                | 手話・筆談<br>要約筆記等<br>による情報提供 | 令和3年10月23日(土)                  | 伊勢市   |
|              | 閉会式                |                           | 令和3年10月25日(月)                  | 伊勢市   |
|              | リハーサル大会            |                           | 令和3年5月下旬から<br>6月中旬までの土日        | 津市、四日市市、<br>伊勢市、鈴鹿市、<br>松阪市、志摩市、<br>東員町、明和町、<br>紀北町 |
|              | 競技会<br>(公式練習日を含む。) |                           | 令和3年10月22日(金)<br>から10月25日(月)まで |   |

※上記以外にも両大会期間中、必要に応じて活動予定。

※選手、役員及び観覧者等の全国から参加する聴覚障がい者等に対し、手話や要約筆記、筆談等による情報支援の業務を行う。

## 9 活動日・配置場所の決定

1日を単位とし、複数日の参加を可能とする。

登録者の活動日・配置場所については、事前に実施する希望調査を参考に関係団体と協議のうえ、県実行委員会が決定する。

## 10 研修等

(1) 県実行委員会は、登録者が活動に必要な専門的な知識等を習得するための情報支援ボランティア養成講座及び事前研修等を開講する。

(2) 登録者は、原則として県実行委員会が実施する対象の研修等にすべて参加するものとする。

## 11 待遇

(1) 活動及び研修等への参加に係る報酬は無償とし、交通費は自己負担とする。

(2) 服飾等の識別用品及び活動日の昼食については、必要に応じて県実行委員会が支給する。

(3) 活動及び研修に当たり、県実行委員会の負担により、「傷害保険」及び「賠償責任保険」に加入する。

## 1.2 個人情報の取扱い

- (1) 応募者の個人情報については、三重県個人情報保護条例その他関係法令の規定に基づき、その保護を図るものとする。
- (2) 登録者の個人情報については、県実行委員会が主催する両大会の運営のために使用し、その他の目的には使用しない。
- (3) (2)にかかわらず、申込時において、会場地市町への情報提供について事前に同意している方の個人情報は、各会場地市町からの要請に応じて提供することができるものとする。

## 1.3 活動の写真、動画の取扱い

登録者をボランティア活動日等に撮影した写真・動画を両大会の活動結果を広報する目的の限りにおいて、県実行委員会のホームページその他広報媒体に掲載することがある。

## 1.4 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

## 三重とこわか大会資格審査実施要項（案）

### 1 趣旨

三重とこわか大会において、競技種目や組み合わせの決定を公平かつ円滑に行うため、参加選手の資格審査について、この要項に基づき実施する。

### 2 実施主体

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会が、専門的な資質や知識・経験を有する者の協力を得て実施する。

### 3 資格審査対象

参加選手全員（オープン競技を除く）

### 4 審査内容

参加申込書に基づき、資格審査対象者について次の審査を行う。

（1）全国障害者スポーツ大会開催基準要綱に定める参加資格条件を満たしていること。

（2）全国障害者スポーツ大会競技規則に定める年齢区分及び障害区分と出場申込みのあった競技・種目が適合していること。

### 5 その他

この要項に定めるもののほか、資格審査に関し必要な事項は、関係者が協議のうえ決定する。

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会

全国障害者スポーツ大会専門委員会部会設置要項（案）

（趣旨）

第1条 この要項は、三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会専門委員会規程第5条の規定に基づき、全国障害者スポーツ大会専門委員会（以下「専門委員会」という。）の部会の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（部会の名称及び付託事項）

第2条 部会の名称及び専門委員会からの付託事項は、別表のとおりとする。

（部会の役員）

第3条 部会に次の役員を置く。

- (1) 部会長 1名
  - (2) 副部会長 若干名
- 2 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。
  - 3 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき、又は欠けたときは副部会長がその職務を代理する。
  - 4 部会の役員については、専門委員会委員長が指名する。

（任期）

第4条 部会委員の任期は、部会の目的が達成されたときまでとする。ただし、充て職にあつては、部会委員就任時の機関、団体等の役職を離れたときは、その資格を失い、後任者が残任期間を務めるものとする。

（会議）

- 第5条 部会の会議は、部会長が招集し、部会長が議長となる。
- 2 部会は、付託事項を審議したときは、その結果を専門委員会に報告するものとする。
  - 3 部会は必要があるときは、部会委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

（その他）

第6条 この要項に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、当該部会の部会長が専門委員会委員長の承認を得て別に定める。

附 則

この要項は、令和元年 月 日から施行する。

別表（第2条関係）

| 名 称          | 付託事項                              |
|--------------|-----------------------------------|
| ユニバーサルデザイン部会 | 大会の運営及び競技会場の整備に係るユニバーサルデザインに関すること |

## 三重とこわか国体・三重とこわか大会

## 「移動支援ボランティア」募集要項（案）

## 1 趣旨

令和3年に開催される三重とこわか国体及び三重とこわか大会（以下「両大会」という。）において、性別、年齢、障がいの有無や国籍などにかかわらず誰もが参加しやすい両大会となるよう、視覚障がい者や車いす使用者に対する介助・誘導をはじめ、観覧者一人ひとりに応じた配慮やサポートを行う「移動支援ボランティア」を募集する。

## 2 募集主体

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会（以下「県実行委員会」という。）

## 3 募集人数

100人

## 4 募集期間

令和元年10月下旬（予定）から募集人員に達するまでとする。

## 5 応募要件

以下のすべての要件を満たす方とする。

- (1) 平成15年4月1日以前に生まれた方（令和3年4月1日時点で18歳以上、高校生を除く）
- (2) 一人ひとりに応じた配慮やサポートのできる知識又は経験があり、主体的に活動できる方（ユニバーサルデザインアドバイザー養成講座修了者、ガイドヘルパー養成研修修了者、その他福祉施設等で移動支援の経験のある方など）
- (3) 県実行委員会が主催する事前研修等への参加・協力が可能な方

## 6 応募方法

応募方法は、登録申込書に必要事項を記入のうえ、県実行委員会事務局宛てに郵送、FAX又は両大会のホームページにより行うものとする。

※「登録申込書」については、県実行委員会が別に定めたものを使用する。

## 7 登録

県実行委員会は、応募要件を満たした応募者を、移動支援ボランティアとして登録し、移動支援ボランティア登録証を交付する。

## 8 活動内容及び活動場所

### (1) 活動内容

両大会の開・閉会式及び三重とこわか大会の各競技会場において、視覚障がい者や車いす使用者に対する介助・誘導をはじめ、観覧者一人ひとりに応じた配慮やサポートを行う。

### (2) 活動日

1日を単位とし、複数日の参加を可能とする。

ただし、三重とこわか大会のリハーサル大会及び競技会は、同一会場かつ両日の参加を基本とする。

| 区 分          |                    | 活動日                        | 活動場所                                |
|--------------|--------------------|----------------------------|-------------------------------------|
| 三重とこわか<br>国体 | 総合開会式              | 令和3年9月25日(土)               | 伊勢市                                 |
|              | 総合閉会式              | 令和3年10月5日(火)               | 伊勢市                                 |
| 三重とこわか<br>大会 | 開会式                | 令和3年10月23日(土)              | 伊勢市                                 |
|              | 閉会式                | 令和3年10月25日(月)              | 伊勢市                                 |
|              | リハーサル大会            | 令和3年5月下旬から6月中旬までの土曜日、日曜日   | 津市、四日市市、伊勢市、鈴鹿市、松阪市、志摩市、東員町、明和町、紀北町 |
|              | 競技会<br>(公式練習日を含む。) | 令和3年10月22日(金)から10月25日(月)まで | 津市、四日市市、伊勢市、鈴鹿市、松阪市、志摩市、東員町、明和町、紀北町 |

※上記以外にも両大会期間中、必要に応じて活動予定

## 9 活動日・配置場所の決定

登録者の活動日・配置場所については、事前に実施する希望調査を参考に関係団体と協議のうえ、県実行委員会が決定する。

## 1 0 研修等への参加及び協力

- (1) 県実行委員会は、両大会に関する認識を深め、円滑な運営を行えるよう、登録者を対象とした研修等を実施する。
- (2) 登録者は、県実行委員会が実施する対象の研修等に積極的に参加するものとし、その他のボランティア等を対象としたUD研修等において講師や補助スタッフとして協力するものとする。

## 1 1 待遇

- (1) 活動及び研修等への参加に係る報酬は無償とし、交通費は自己負担とする。(ただし、研修等において講師や補助スタッフとして活動する場合を除く)
- (2) 服飾等の識別用品及び活動日の昼食については、必要に応じて県実行委員会が支給する。
- (3) 活動及び研修に当たり、県実行委員会の負担により、「傷害保険」及び「賠償責任保険」に加入する。

## 1 2 個人情報の取扱い

- (1) 応募者の個人情報については、三重県個人情報保護条例その他関係法令の規定に基づき、その保護を図るものとする。
- (2) 登録者の個人情報については、県実行委員会が主催する両大会の運営のために使用し、その他の目的には使用しない。
- (3) (2) にかかわらず、申込時において、会場地市町への情報提供について事前に同意している方の個人情報は、各会場地市町からの要請に応じて提供することができるものとする。

## 1 3 活動の写真、動画の取扱い

登録者をボランティア活動日等に撮影した写真・動画を、両大会の活動結果を広報する目的の限りにおいて、県実行委員会のホームページその他広報媒体に掲載することがある。

## 1 4 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

三重とこわか大会競技会運営調整会議について（案）

1 目的

三重とこわか大会において、競技運営主管団体、会場地市町、県の各担当者が集まり、それぞれの競技運営に関する課題等について情報共有を図りながら、課題解決に向けた方策を検討し、円滑な競技会運営に向けた協議を行います。

2 協議内容

- 競技会運営に関すること
- 競技役員等養成・編成に関すること
- 競技用具の整備に関すること
- 会場設営に関すること

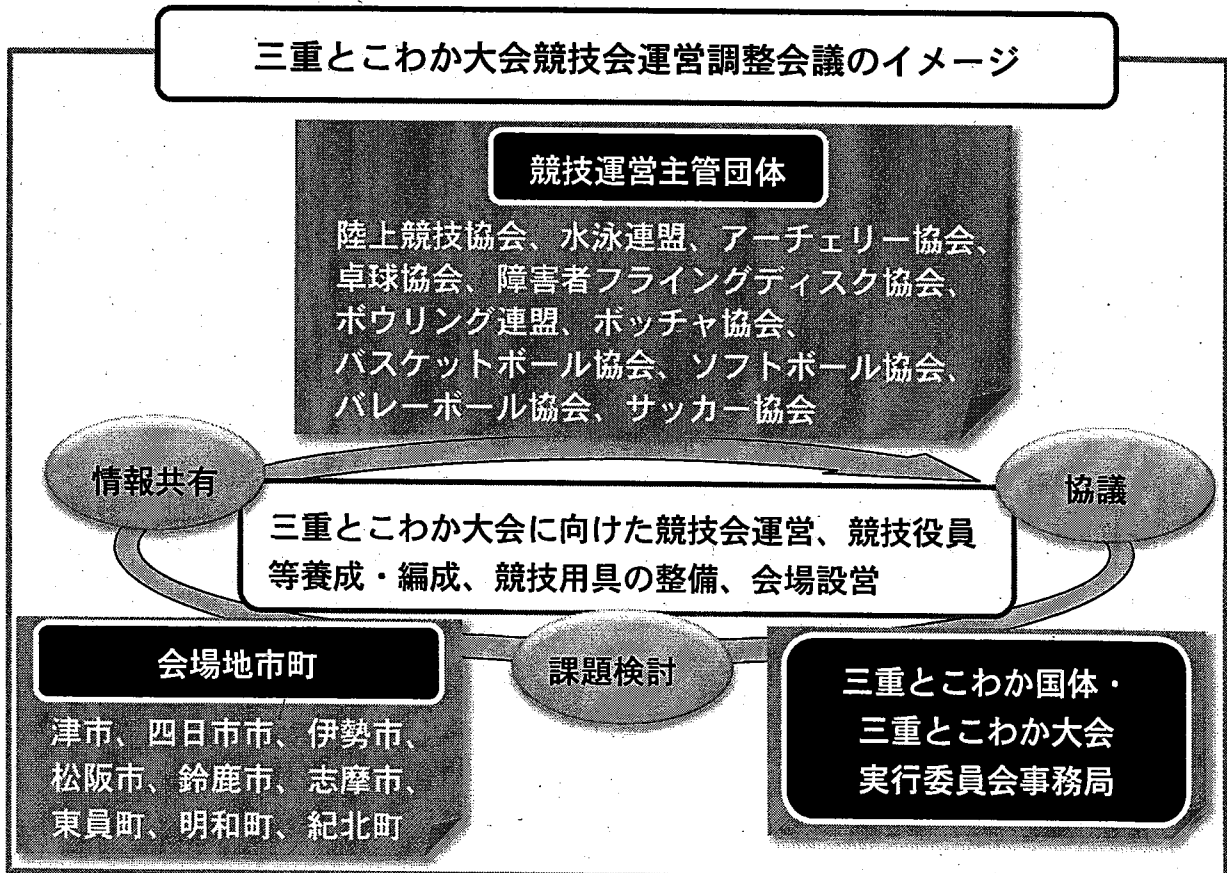
3 構成

- 競技運営主管団体（11 競技団体）
- 会場地市町（9 市町）
- 三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会事務局

4 開催方法

原則、競技ごと（競技会場が複数ある場合には競技会場ごと。）に競技運営主管団体、会場地市町、実行委員会事務局等の各担当者が集まり、協議を行います。

また、必要に応じて全体会議を実施します。





実行委員会 全国障害者スポーツ大会専門委員会 委員名簿

(敬称略・順不同)

| 区分            | 機関・団体名                     | 役職        | 名前     |
|---------------|----------------------------|-----------|--------|
| 障がい者団体<br>(5) | 公益社団法人三重県障害者団体連合会          | 会長        | 世古 佳清  |
|               | 一般財団法人三重県知的障害者育成会          | 理事長       | 高鶴 かほる |
|               | 特定非営利活動法人三重県精神保健福祉会        | 理事長       | 山本 武之  |
|               | 社会福祉法人三重県視覚障害者協会           | 会長        | 児玉 千春  |
|               | 一般社団法人三重県聴覚障害者協会           | 会長        | 深川 誠子  |
| 医療関係団体<br>(8) | 三重県身体障害者福祉施設協議会            | 副会長       | 三瀬 正幸  |
|               | 三重県知的障害者福祉協会               | 会長        | 近藤 忠彦  |
|               | 三重県精神障がい者福祉事業所連絡協議会        | 会長        | 伊藤 顕誠  |
|               | 一般社団法人三重県理学療法士会            | 理事        | 南 圭介   |
|               | 一般社団法人三重県作業療法士会            | 副会長       | 佐藤 明俊  |
|               | 三重県精神保健福祉士協会               | 顧問        | 浦田 成弘  |
|               | 社会福祉法人三重県社会福祉協議会           | 常務理事・事務局長 | 松本 利治  |
|               | 社会福祉法人三重県厚生事業団             | 理事        | 速水 恒夫  |
| 競技団体<br>(15)  | 公益財団法人三重県体育協会              | 理事長       | 村木 輝行  |
|               | 一般財団法人三重陸上競技協会             | 専務理事      | 松澤 二一  |
|               | 一般社団法人三重県水泳連盟              | 競技委員長     | 渡 弘行   |
|               | 三重県アーチェリー協会                | 理事長       | 早川 進也  |
|               | 三重県卓球協会                    | 理事長       | 北河 善治  |
|               | 三重県障害者フライングディスク協会          | 会長        | 吉田 健一  |
|               | 三重県ボウリング連盟                 | 副理事長      | 深津 憲治  |
|               | 一般社団法人三重県バスケットボール協会        | 常務理事      | 岡田 浩一  |
|               | 三重県ソフトボール協会                | 理事長       | 大井 義文  |
|               | 三重県バレーボール協会                | 副理事長      | 片岡 学   |
|               | 一般社団法人三重県サッカー協会            | 事務局長      | 奥田 典之  |
|               | みえボッチャ協会                   | 事務局長      | 多田 智美  |
|               | 一般社団法人三重県レクリエーション協会        | 事務局長      | 津幡 佳代子 |
|               | 三重県障がい者スポーツ協会              | 会長        | 前田 浩司  |
|               | 三重県障がい者スポーツ指導者協議会          | 会長        | 山本 章弘  |
| 会場地市町<br>(9)  | 津市スポーツ文化振興部国体・障害者スポーツ大会推進局 | 次長        | 川合 毅   |
|               | 四日市市スポーツ・国体推進部 国体推進課       | 課長        | 長谷川 稔  |
|               | 伊勢市国体推進局                   | 次長        | 松葉 清高  |
|               | 松阪市教育委員会事務局 国体推進室          | 室長        | 前出 和也  |
|               | 鈴鹿市文化スポーツ部 国体推進課           | 課長        | 金丸 直志  |
|               | 志摩市教育委員会事務局 国体推進室          | 室長        | 阿部 亨   |
|               | 東員町教育委員会事務局社会教育課           | 課長        | 石川 清   |
|               | 明和町教育委員会事務局教育総務課           | 課長        | 西尾 仁志  |
|               | 紀北町教育委員会事務局生涯学習課           | 課長        | 井土 誠   |
| 行政機関<br>(6)   | 三重県市長会                     | 事務局長      | 村林 謹一  |
|               | 三重県町村会                     | 事務局長      | 奥村 仁孝  |
|               | 三重県子ども・福祉部 障がい福祉課          | 課長        | 森岡 賢治  |
|               | 三重県教育委員会事務局 保健体育課          | 課長        | 嶋田 和彦  |
|               | 三重県教育委員会事務局 特別支援教育課        | 課長        | 赤尾 時寛  |
|               | 三重県立特別支援学校長会               | 会長        | 井川 佳久  |
| 経験者<br>(4)    | 三重大学                       | 教授        | 菊池 紀彦  |
|               | ユマニテク医療福祉大学校               | 副学科長      | 田中 千陽  |
|               | 鈴鹿医療科学大学                   | 教授        | 畠中 泰彦  |
|               | 皇學館大学                      | 教授        | 叶 俊文   |

